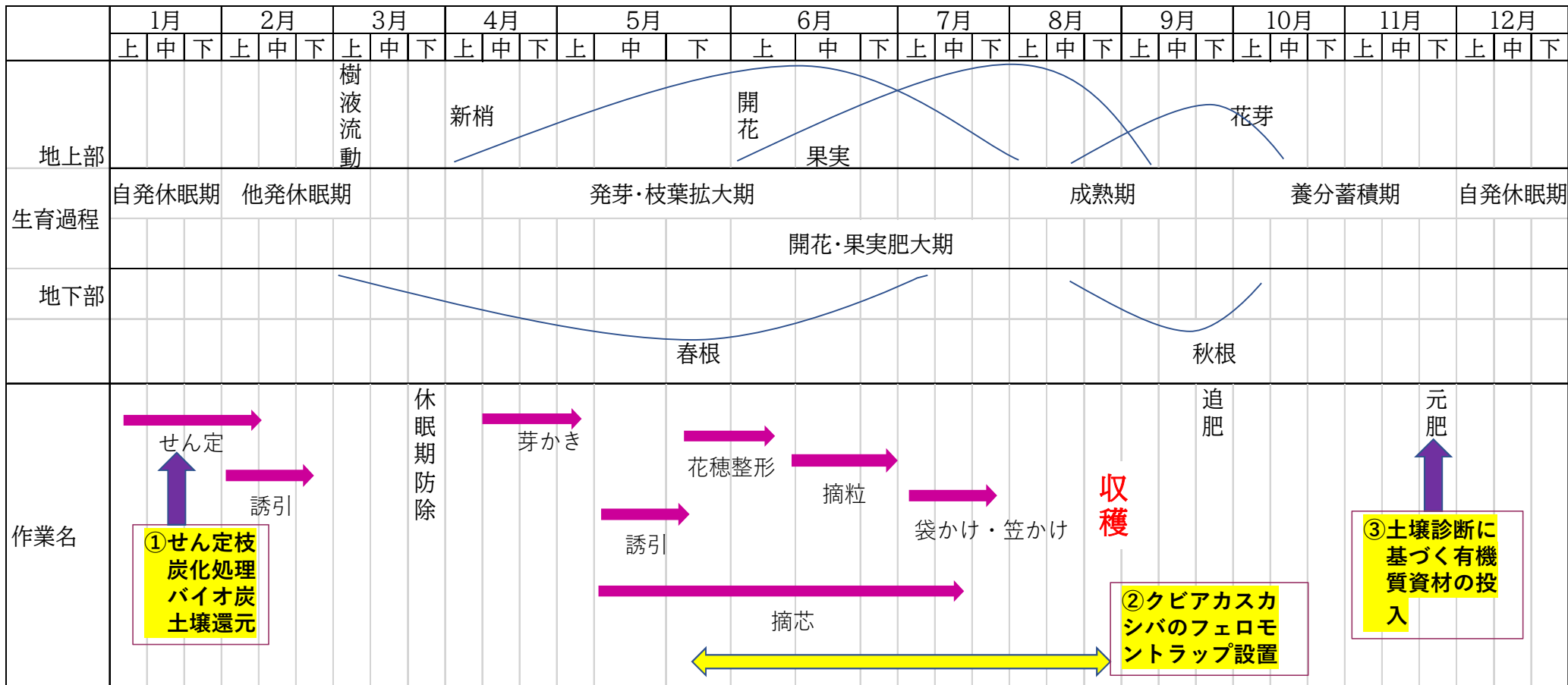


ちちぶ山ルビー 施肥・土づくり指針



<せん定枝バイオ炭の土壌還元>

100kg/10a/年

※施用前に土壌pH値要確認

「やまなし4パーミル・イニシアチブ」アチーブメント認証基準に準じ設定



<クビアカスカシバフェロモントラップ設置>

- ・年1回発生。終齢幼虫が10月頃被害樹から土中に移動し、地表数cm下に土繭をつくり越冬。
- ・成虫は5月下旬頃から羽化し始め、8月下旬頃まで産卵。体長約3cm、翅は透明で外観はスズメバチに似ている。
- ・休眠期に粗皮削りを行い食入部の早期発見や枝幹部への薬剤のかかりを良くする。
- ・幼虫発生始期から落花10日後（果粒の小豆大期）までと7月下旬から8月上旬（袋掛け後）の2回が重点防除時期。幼虫の食外部を見たら捕殺する。



<土壌診断に基づく有機質資材の投入>

元肥	例)	投入量
	モグラ堆肥V	200kg/10a
	自家製堆肥	3.5t/10a
	ソフトシリカ	200kg/10a
	マインマグC	45kg/10a
追肥・葉面散布	有機ペレット888T	12kg/10a
	ぶどう専用853	9kg/10a
	千代田化成	2.3kg/10a
	尿素入IBS1	0.6kg/10a
	メリット青	2.1ℓ/10a



炭化器の使い方

太いせん定枝は直ぐに炭にせず、少し乾かして燃えやすくした方が効率的です。

1. 主な炭材



主な炭材は枯竹、剪定枝等の枯枝など。枯枝は太すぎると炭化に時間がかかるので5cm以下がよいでしょう。竹は乾燥していたら太くても構いません。

2. 準備



炭化器を火災の心配のない広い場所に設置します。（土の上が望ましい）下から空気が入ると下から灰化が進むので隙間なくねじ込みます。隙間が生じる場合は土を盛って目張りをします。

3. 着火



段ボール等を着火剤に活用し、火を着けたら燃えやすい炭材から投入します。器内の温度が低い着火時は若干煙が出ます。徐々に火の勢いを大きくし、炎に勢いが出てくると無煙になります。

4. 炭化開始 (次ページ参照)



十分に炎の勢いが出てきたら、炭材を連続的に投入し続けます。生の炭材を投入したり一度に大量の炭材を投入すると器内の温度が下がり、煙が発生します。

5. 炭化中 (次ページ参照)



勢いよく燃やすことで下に積み重なっている炭材は酸欠・蒸焼状態となり炭化が促進されます。容器いっぱいになって来たら炭材の投入を止めます。燃焼に勢いが出てくるとほとんど煙が出ません。

6. 炭化最終段階 (次ページ参照)



炎が見えなくなるまで待ちます。炎が出ているところはまだ未炭化の部分です。上部から灰化が進むのでいつまでも炎が出ている炭材は取り除きます。最後にかき混ぜて炎が出ている炭材が無ければ炭化完了です。

7. 消化 (次ページ参照)



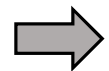
土壌改良や水質浄化に炭を活用する場合は簡単な水での消化をします。それ以外はドラム缶などの容器に移して蓋をして消すか、炭化器自体に蓋をして消します。水消火は湯気が出なくなるまで、酸欠消火は丸一日放置し全体が冷たくなるまで完全に消火します。

8. 炭化完了 (次ページ参照)

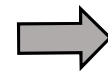


消し炭（ポーラス炭、バイオ炭）のできあがり。火が着きやすい炭なのでその後の取り扱いにも十二分に気を付けてください。燃えやすい袋に入れたり、燃えやすい物の近くで保管しないようにしてください。

4.炭化開始～5.炭化最終段階



5分後



10分後



5分後



7.消化～8.炭化完了



水で消化



蓋をする



隙間から空気がもれないよう、土でふさぐ（下からもれる場合も同様にふさぐ）
この状態で一晩放置

クビアカスカシバの生態

発生は6～8月で、ピークは6月下旬～7月上旬に羽化し8月下旬頃まで産卵が続く。

幼虫ははじめ乳白色であるが、齢が進むにつれて赤みを帯びてくる。幼虫は7月～9月にかけて主管部または主管部に近い棚上の枝の粗皮下を溝上に食害する。

維管束部を溝上に食害するので樹勢は衰え、樹整数が多いと若木などでは枯死に至る。

終齢幼虫（体長3～4 cm）は秋に地上におり、土中に繭をつくりその中で幼虫で越冬する。

クビアカスカシバの対策

<耕種的防除>

虫糞やヤニを目安に確認、早めに捕殺する。
粗皮剥ぎは散乱抑制などに効果的である。
土中浅く越冬するので、落葉後12月頃中耕する。

<薬剤防除>

フェロモントラップを5月下旬頃から設置し、捕獲されたら薬剤を主枝、亜主枝、主幹部にかかるとう散布する。

ShinEtsu

《発生予察用性フェロモン剤》

SE ルアー クビアカスカシバ

有効成分：

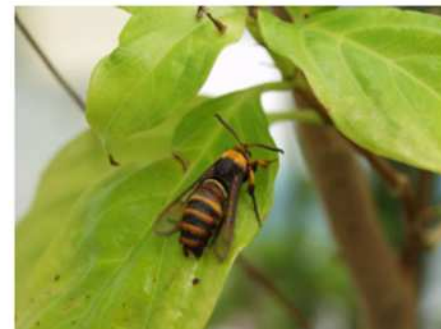
(Z,Z)-3,13-Octadecadienol

(Z,Z)-3,13-Octadecadienyl acetate

有効期間： 開封から1か月

適用トラップ： SEトラップ
サンケイトラップ

使用方法： ブドウ棚より吊るす



使用上の注意

- ① 発生予察以外の目的に使用しないで下さい。
- ② 未開封のフェロモン剤は、冷蔵保管して下さい。
- ③ 開封後は速やかにトラップに取り付けて下さい。
- ④ トラップはブドウの棚から吊るします。
- ⑤ フェロモン剤の取り扱いには付属のピンセットを利用して下さい。
- ⑥ 粘着板は、捕獲数や汚れに応じて適宜交換して下さい。

トラップに混入する対象外昆虫

キタスカシバ

製 造：信越化学工業株式会社
東京都千代田区丸の内1-4-1

お問合せ：ファインケミカル部 Tel: 03-6812-2442